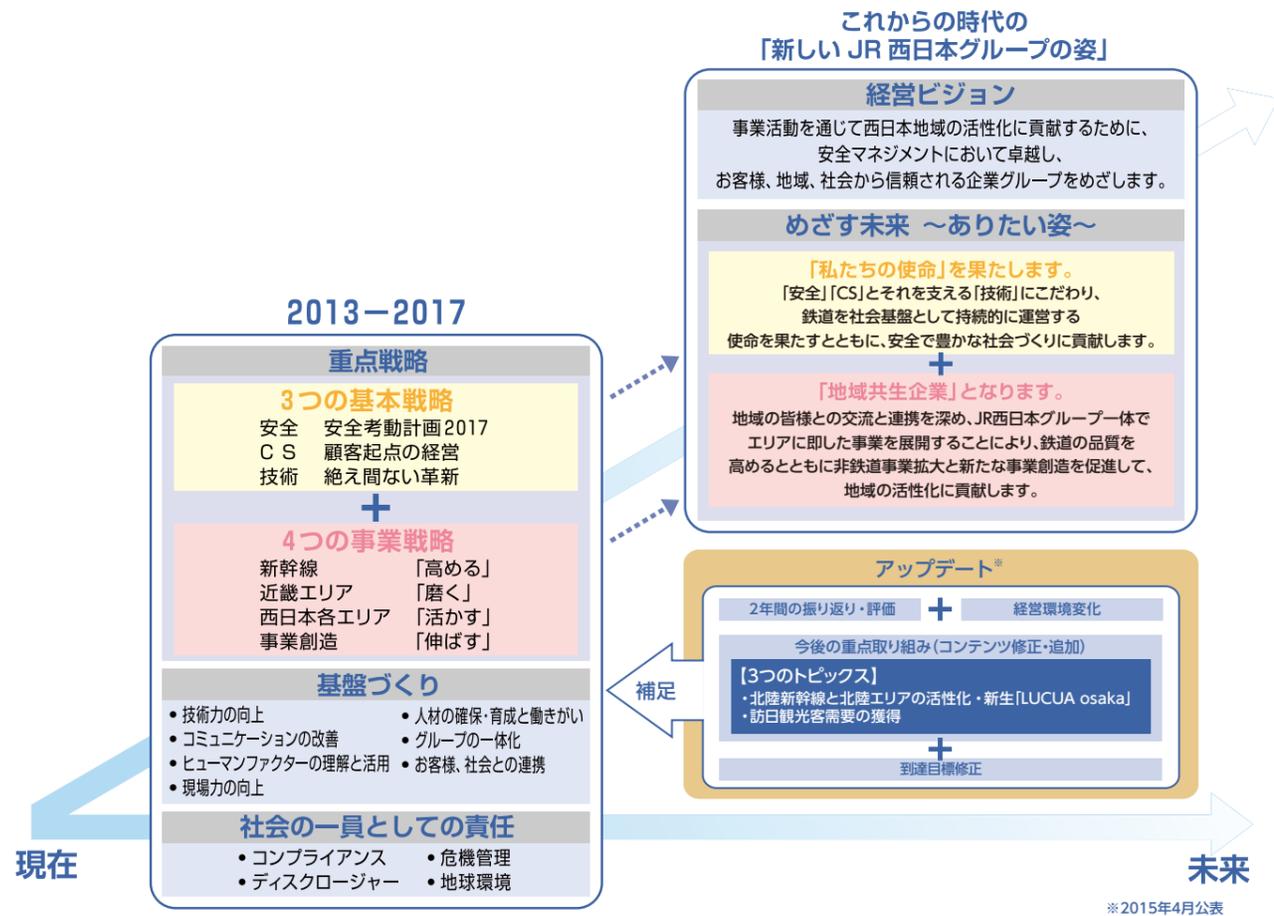


JR西日本グループ 中期経営計画2017について



重点戦略

「めざす未来～ありたい姿～」の実現に向けて、2017年度までの5年間で「確かな経営の土台をつくり上げる期間」と位置付け、将来の成長と持続的経営に資する「3つの基本戦略」と「4つの事業戦略」を、鉄道部門・創造部門一体となって実行します。

3つの基本戦略

安全

「安全考動計画2017」を実行し、更に高いレベルの安全をめざします。



CS

お客様のニーズや期待を把握し、顧客起点の経営をめざします。



技術

安全とCSを支える技術の絶え間ない革新をめざします。



2013年3月、JR西日本グループは「JR西日本グループ中期経営計画2017」(以下、「中期経営計画」)を発表しました。この「中期経営計画」では、経営ビジョンを具体化するため、JR西日本グループの「めざす未来～ありたい姿～」を掲げています。「3つの基本戦略」と「4つの事業戦略」からなる「重点戦略」を実行するとともに、「基盤づくり」を進め、「社会の一員としての責任」を果たし、これからの時代の「新しいJR西日本グループ」の実現に向けて、「次の一歩」を踏み出しています。

4つの事業戦略

新幹線 高める

世界に誇る技術を持つ新幹線のポテンシャルを高め人々の交流を促進します。



N700A(山陽新幹線)



W7系(北陸新幹線)

近畿エリア 磨く

西日本の中心となる近畿エリアは、線区価値を向上し、都市の魅力を磨いていきます。



森ノ宮駅リニューアル



323系(大阪環状線)

西日本各エリア 活かす

西日本各エリアは、エリアに即した事業展開や持続可能な地域交通の実現を通じて、それぞれの良さ・強みを活かしていきます。



新白島駅



天空の城 竹田城跡号

事業創造 伸ばす

これからの時代の新しいJR西日本グループの姿を追求し、様々な事業創造の芽を伸ばしていきます。



OSAKA STATION CITY



セブン-イレブン提携店舗

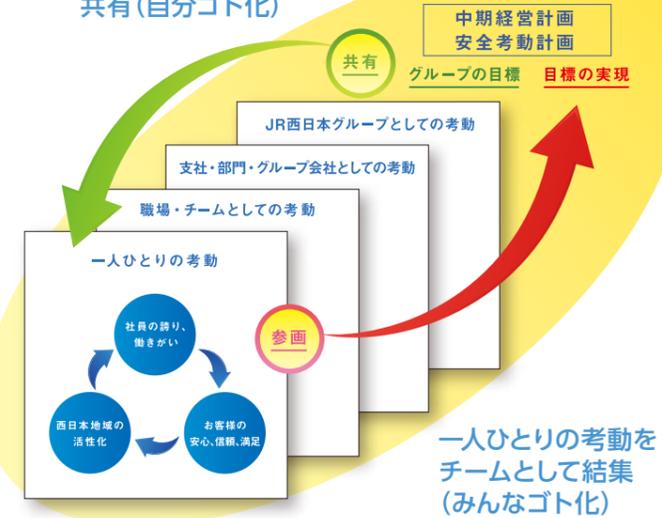
現場起点での一人ひとりの考動をチームとして結集することで「中期経営計画」を推進し、目標の実現につなげていくためには、全員が目標に納得感を持ち、その実現に向けた取り組みに進んで参画することが必要です。

現在、「自分ゴト化」「みんなゴト化」をキーワードとして、「組織開発」*1の考え方や手法を用いた取り組みを進めています。具体的には、社員一人ひとりが組織目標を理解・納得すること(=自分ゴト化)や、チームのベクトルを束ね一体感を醸成していくこと(=みんなゴト化)を促す職場ディスカッションを展開しています。



草津駅でのディスカッション

会社方針の浸透・共有(自分ゴト化)



企業理念
安全憲章

*1 組織開発: 組織構造、制度、手順などの形のあるものや明文化されたものだけでなく、人のモチベーションやコミュニケーションの仕方、協働性など刻々と変化するものにも働きかけ、組織や風土の変革に取り組むこと